

2012年7月3日

鉄道車両用円弧状手すり
日本人間工学会 人間工学グッドプラクティス賞 最優秀賞受賞

当社と公益財団法人鉄道総合技術研究所（鉄道総研）が共同研究・開発し、各社の通勤車両に使用されている鉄道車両用円弧状手すりが、このたび一般社団法人日本人間工学会 人間工学グッドプラクティス賞最優秀賞を受賞しました。授賞式は、6月9日（土）の一般社団法人日本人間工学会総会（会場：九州大学大橋キャンパス）にて行われました。なお、最優秀賞は本件1件、優秀賞は5件、特別賞は7件でした。



通勤車両のロングシートを区切る位置の縦手すりは、つり革を利用しにくい人の支持具として、また、高齢者などの立ち座りの際の支持具として使われています。この縦手すりを円弧状にし、よく握られる部分を通路側に張り出させることによって、立位、座位での使いやすさが向上しました。

この手すりは、まず優先席、そしてその他の座席に広がり、現在では1,000両を超える車両に使われています。

（人間工学グッドプラクティスデータベースより抜粋）

http://www.ergonomics.jp/gpdb/gpdb-list.html?qddb_id=58&listpage



平成24年度 人間工学グッドプラクティス賞
最優秀賞

公益財団法人鉄道総合技術研究所 殿
株式会社総合車両製作所 殿

下記の案件は、人間工学の良好実践例の中で最も優秀と認められましたのでこれを賞します。

案件名 鉄道車両用円弧状手すり

平成24年6月9日
一般社団法人日本人間工学会
理事長 斉藤 暲

賞状



トロフィー